

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

みだしのことについて、本市全体の状況については、下記のとおりです。  
なお、本年度は小学校2教科、中学校3教科（小中…国語、小中…算数・数学、中…英語）の調査を実施しました。

記

1 本年度の各教科平均正答率 ※経年比較は別紙1参照

		国語	算数・数学	英語			
				聞く	読む	書く	話す
小学校	本市	67	61				
	三重県	67	62				
	全国（公立）	67.2	62.5				
中学校	本市	71	53	47			
	三重県	69	51	45			
	全国（公立）	69.8	51.0	45.6			

※ 文部科学省は、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないことから、平成29年度より小数点以下は四捨五入し整数で示しています。

2 本市の小中学校の状況

小学校は国語が全国平均同等、算数が全国平均を下回る結果でした。

中学校は国語・数学・英語のすべてにおいて、全国平均以上の結果でした。

		強み	弱み
小学校	国語	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
	算数	伴って変わる二つの数量の関係が比例関係であることを説明すること	2つの三角形の面積の大小を、底辺と高さに着目して判断すること
中学校	国語	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと	文脈に則して漢字を正しく書くこと
	数学	根拠と成り立つ事柄を示して理由を説明すること	空間における直線や平面の位置関係を捉えること
	英語	文と文との関係を正確に読み取ること 言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えること

3 今後の方針

- ・ 今回の調査結果の詳細な分析を行い、本調査問題の趣旨等を踏まえた具体的な授業改善の視点を提案します。さらに、各学校において自校の分析結果公表を指示し、特に課題が見られた学校には、適切に指導・助言を行い、学校と連携して学力向上に取り組みます。
- ・ 学習や生活の基盤となる言語能力や問題発見・解決能力、情報活用能力等を育成するために、就学前から小学校・中学校の期間において一貫性・連続性のある指導の充実を図ります。
- ・ 子どもが主体的に学習に取り組むことができるよう、家庭への啓発を図るとともに、ICTを効果的に活用することにより、家庭学習と授業との連携を行います。